

学年「单元名」	第3学年 公民的分野B(2)「国民の生活と政府の役割」(消費者の権利を守るため)
本時のねらい	成年年齢引き下げを踏まえ、消費者トラブルの事例等を学習することにより、消費者に保障されている権利や果たすべき責任について理解し、自立した消費者としてどのように行動するか表現することができる。
授業場面	消費生活に関わる内容について、青森県消費生活センターホームページから調べる。

【授業場面 青森県消費生活センターホームページから消費生活に関わる内容を調べる】

教師の働きかけ ・発問等 ○活動	生徒の活動 ・発言 ○活動
1 資料と家庭科での学習内容を確認し、本時の学習課題を確認する。(3分) ・成年年齢引き下げに伴うトラブルの資料 ・家庭科での消費生活に関する学習	・成人年齢は20歳から18歳になったの知らなかった。 ・18歳のトラブルが多いのがわかった。 ・消費者トラブルの問題について勉強していたなあ。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 自立した消費者になるための「トラブル防止3か条」を作ろう。 </div>	
2 消費者に保障されている権利などを説明する。(10分) ・クーリング・オフ制度、PL法、消費者契約法、消費者基本法などについて確認	○消費者に保障されている権利などを理解する。 ・消費者基本法やクーリング・オフ制度がどのようなものか分かりました。 ・どんなトラブルが起きているのか知りたいな。
3 消費生活に関わる内容を青森県消費生活センターHPから調べる。(25分)	○消費者トラブルや防止方法などをHPから調べる。
4 発表と振り返りを行う。(12分)	○タブレット上で交流する。

○単元指導計画 B(2)「国民の生活と政府の役割」(12時間扱い)

(1)単元の導入「よりよい社会を実現するために、私たちは経済とどのように関わればよいのだろう」1時間

(2)第一次「消費生活と市場経済」よりよい消費活動をするためには、どのように行動すればよいのだろう。4時間

①「私たちの消費生活」よりよい消費生活を送るためにはどのようなことが必要なのだろう。

②「消費生活を支える流通」商品はどういうようにして消費者に届けられるのだろう。

③「契約と消費生活」消費者主権を実現するために必要なことは何だろう。

④「消費者の権利を守るために」自立した消費者になるために必要な権利や責任は何だろう。

(本時)

(3)第二次「財政と国民の福祉」4時間

(4)第三次「これからの経済と社会」2時間

(5)単元のまとめ「よりよい社会を実現するために、私たちは経済とどのように関わるか」1時間